

佐賀大学美術館 企画展

「SUAM/ROOT Vol.1 瀬戸口朗子 ー幕間ー」

2024 年 6 月 18 日（火）～9 月 8 日（日）

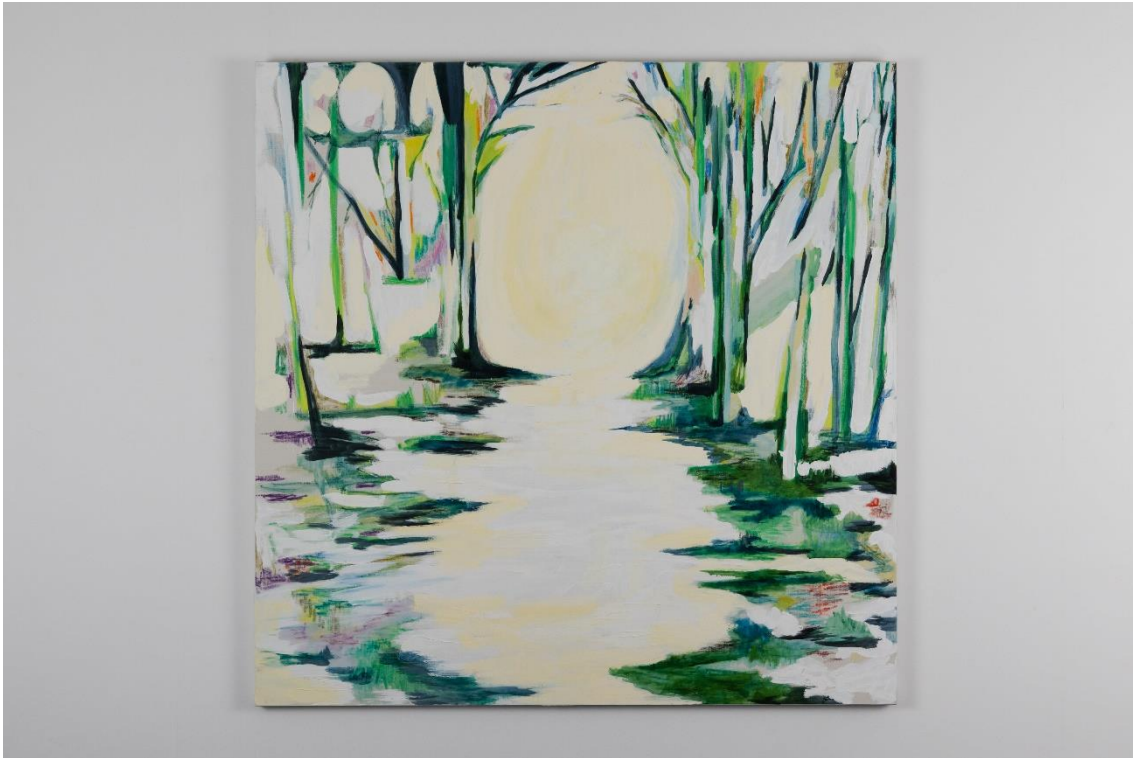


図1 《森の入り口》2023 年 キャンヴァスに油彩、クレパス 1303x1303mm 撮影：藤本 幸一郎 作家蔵

【会 期】2024 年 6 月 18 日（火）～9 月 8 日（日）

【会 場】佐賀大学美術館 特別展示室

【開館時間】10 時～17 時（入館は 16 時 30 分まで）

【休 館 日】月曜日（祝日の場合翌火曜日休館）、8 月 14 日（水）、15 日（木）
※9 月 2 日（月）は特別開館

【観 覧 料】無料

【主 催】佐賀大学美術館

【お問い合わせ】佐賀大学美術館 企画担当：五十嵐

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1 TEL:0952-28-8333 FAX:0952-28-8215

URL: <https://museum.saga-u.ac.jp/> EMAIL: sbj8333@mail.admin.saga-u.ac.jp



概要

佐賀大学美術館は国立総合大学唯一の美術館として 2013 年に開館し、昨年度開館 10 周年を迎えました。新たな 10 年に向けて、より地域に開かれた美術館を目指し、展覧会の開催や多様な事業に取り組んで参ります。

SUAM/ROOT と題した本展は、佐賀県や九州にゆかりがある若手・中堅のアーティストの発表の場、活動継続支援の機会となるよう以後継続した開催を予定しています。第 1 回目となる本展では、2002 年に佐賀大学文化教育学部美術工芸課程西洋画専攻を卒業し、佐賀や福岡を拠点に活動続ける瀬戸口朗子を紹介します。瀬戸口は、「大事な事や物」を一貫したテーマとして、平面作品を中心に制作を行っています。これまでの作品のタイトルや制作態度にも表れている表裏一体や二律背反といった相反する物事を共存させるとらえ方を肯定する姿勢は、物事の価値や在り方の複雑さに対するしなやかな向き合い方ともとれます。光と闇、前と後ろ、興味と戸惑い、喜びと恐れ、華やかさとさみしさ、それぞれ移ろいや変化の中にあるはずの物事や感情も、私たちの思いや経験から二分化や固定されてしまうことがあります。瀬戸口の作品を通して世界を見ることで、私たちそれぞれが対峙する出来事や世界の複雑さを少しだけときほぐすきっかけとなるのではないのでしょうか。

【イベント】

①風鈴絵付けワークショップ&美術館のガラスに絵を描こう！

講師：瀬戸口朗子

日時：2024 年 7 月 21 日（日）10 時開始

会場：佐賀大学美術館 スタジオ

対象：幼稚園児～小学校（保護者同伴）、汚れてもいい格好でお越しください

参加：無料、先着 10 名、6 月 18 日より事前申込制（TEL:0952-28-8333）

②学芸員による作品解説

日時：6 月 30 日（日）13 時～／7 月 13 日（土）13 時～

対象：どなたでも

参加費：無料

申し込み：不要 当日会場にお越しください。



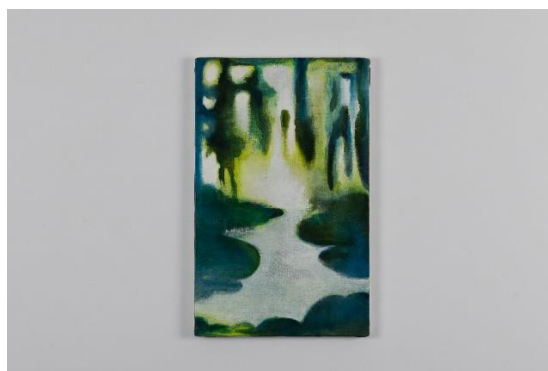
作家紹介

瀬戸口朗子 SETOGUCHI Akiko

1980年佐賀県生まれ、福岡県在住。佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程西洋画専攻卒業。自らの内にあるアンビバレントな感情について、「森」を描く事を通して表現している。主な個展に、「駆け出す足 眠る少女 見ている森」(2023年、EUREKA.fukuoka.otemon、福岡県)、「瀬戸口朗子展」(2017年、画廊 憩ひ、佐賀県)、「きっとどこかでそれが輝いたことは確かである」(2015年、ギャラリーおいし、福岡県)など。主なグループ展に、「瀬戸口朗子 加藤恵 2人展」(2021年、ギャラリーアールグレイ、福岡県)、「コレクション+2」(2019年、EUREKA.fukuoka.otemon、福岡県)、「郷土の美術をみる・しる・まなぶ 番外編 ARS/NATURA -「風景」の向こう側-」(2017年、福岡県立美術館、福岡県)、「HOTEL ART IN」(2017年、MEIJIKAN GALLERY CHIGGO、福岡県)など。



左 図2 《scape》2005年 コットンに油彩 530x455mm 撮影：藤本 幸一郎 作家蔵



右 図3 《森の入り口》2015年 キャンヴァスに油彩 530x410mm 撮影：藤本 幸一郎 作家蔵

記事掲載についてお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名称と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますので佐賀大学美術館までご送付ください。
- ・取材、収録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。